

朝日書評効果
第3刷決定
3月下旬出来

●人文書(世界史・キリスト教) ご担当者さま

“言葉は文化でもある。本書は古代スラヴ語から読み解く東ヨーロッパの歴史である。私たちにはなじみの薄いスラヴ人の世界がよくわかる好著だ。”

出口治明氏、3月7日朝日新聞

古代スラヴ語の世界史

服部文昭 著

古代スラヴ語とは、西暦9世紀の後半から11世紀末にかけて、当時のスラヴ人が文章語として用いた言葉。自分たちの言葉を教会の典礼言語として整えるためにグラゴール文字が作られ、そしてキリル文字へと変わっていった過程をたどります。さらに、スラヴの言語は、歴史と共にどのように変化していったのか。なぜ、キリル文字を使う言語とラテン文字を使う言語に分かれているのか。言葉と文字の変遷から東欧の基礎的な成り立ちが見えてきます。



貴店印	希望数	978-4-560-	書名	本体価格
		08864-7	古代スラヴ語の世界史	2,600円
ご担当	様			

(株)白水社 営業部 TEL 03-3291-7811
FAX 03-3291-8448 (備考 2-97)



「当出版社からのFAX情報停止を希望される方」は、下記記載の上、FAXで返信いただきますようお願いいたします。

このフリーダイヤルでは御注文をお受けできません

共有書店マスター・FAXサービスセンター・停止受付専用ダイヤル
FAX: 0120-106394 (24時間受付)
自動音声案内: 0120-147456 (24時間受付)

貴店名:

FAX:

芳名:

電話:

18448192330